

# ライオン通信

<URL><http://www.kooge.jp/>

Vol. 132 平成 26 年 12 月 10 日発行

郡家コンクリート工業株式会社  
〒680-0433 鳥取県八頭郡八頭町山上 363-17  
TEL(0858)73-0500 FAX(0858)73-0535

## 建設技術フェア 2014 in 中部

豊かで安全な暮らしと環境の調和をめざして

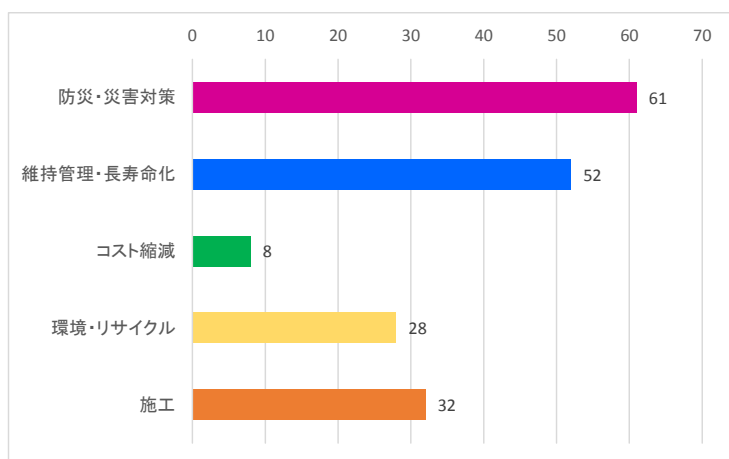
国土交通省中部地方整備局が中心となり開催された『建設技術フェア2014 in 中部』を見学に行ってきました。10月29、30日の二日間、名古屋市の吹上ホールで開催され、発注者、設計者、ゼネコン、資材メーカーなど、県内外から1万人以上の人を訪れ大変な賑わいでした。



出展技術概要集の冒頭で「我が国は人口減少、高齢社会、財政制約、国際競争の激化といった社会構造変化や気候変動・地球環境問題等への対応の中で持続可能で活力ある国土・地域作りをいかに進めていくかが課題となっています。特に、昨今の地球温暖化の影響と思われる局地的な豪雨などにより、河川の増水、道路の冠水、土砂崩れなどが頻発し、さらに近年発生が懸念される南海トラフ巨大地震への対応などの課題に対する取り組みは、「国民の安全・安心を守る」という社会資本整備の最も重要な使命の一つといえます。

また、高度経済成長期に集中整備された橋梁や道路トンネル等多くの社会資本施設が、今後急速に老朽化することへの国民の関心が高まってきており、これら施設の効率的な維持管理や長寿命化に資する技術開発も喫緊の課題であります。

「建設技術フェア2014 in 中部」は、このような課題を踏まえ、「豊かで安全な暮らしと環境の調和をめざして」をメインテーマに「“守る”安全な暮らしを支える建設技術」「“創る”未来を支える、建設技術」を開催テーマとし、「防災・災害対策」、「維持管理・長寿命化」、「コスト縮減」、「環境・リサイクル」、「施工」の5分野、全181技術を展示しています。」とフェア実行委員長で中部地方整備局企画部長の森山さんはご挨拶されています。



分野別出展技術数（181出展技術について集計）

このフェアは産・学・官における技術者の技術情報交流・技術発信の場であると同時に、一般の方々への社会資本整備の重要性を発信する絶好の機会です。特に近年は各地でのゲリラ豪雨の多発や広島土砂災害、先月の長野県白馬村の地震など大きな自然災害が多発していますが、このフェアを通じて防災意識が高まり社会資本整備の必要性が広く理解してもらえることを願っています。



# 会計検査Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂10版より「会計検査Q&A」をご紹介します。一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏は 昭和19年生まれ。元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

## 今月の質問 : 技術の専門研修を？

### 質問

最近の会計検査院の工事に関する指摘では設計に関する指摘が多いのが目立つとともに、構造計算等に関するかなり専門性の高い内容のものも含まれている。調査官に対し構造計算等に関する専門研修を行っているのか？

### 回答

会計検査院では、新入職員研修から始まって各階層ごとに相当きめ細かな研修を実施しています。そのため群馬県の安中市に合宿研修施設を保有しています。実践的な専門研修のカリキュラムのなかには当然工事研修も入っています。研修所には工事検査実習棟なる施設もあり、土木、建築に関する実物大の各種構造物モデルを展示しており、検査院の工事検査に関する力の入れようを窺うことができます。



とはいえ、各種研修では工事検査に関する基本的事項についての研修は行いますが、構造計算のような専門分野まで踏み込んだものまでにはやっていません。

調査官がまず勉強するのはこれまでの指摘事例ですから、最近のように設計に関する指摘が多いと、若い調査官たちもその内容を一生懸命勉強します。自分が検査していくなかでそれと同様の事態があったら、それは直ぐ指摘につながるからです。したがって、同種の指摘が続くということになります。

また、いわゆる工事検査課に配属されている調査官にはそれぞれ得意分野があり、その分野に関してであれば、専門の技術者と十分議論できるだけの知見を持っており、そうした積み重ねが専門性の高い指摘につながっているといえます。

さらに、最近導入されたのが「検査技法集中解説研修」です。この研修は、毎年年末に検査院内で行われるもので、その年検査報告になった案件のなかからいくつかを選んで、発見の端緒から検査で抑えるべきポイントなどについて担当した調査官が詳しく解説します。若い調査官たちに人気の高い実践的研修で、工事検査の分野でも大いに成果を上げているようです。

レオちゃんの製品紹介コーナー

はと小屋ポッポ



C3030 タイプ

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです♪

今月は、丸井産業株式会社様の屋上配管の雨仕舞い用『はと小屋ポッポ』をご紹介します♪

『はと小屋』とは、屋上に配置するエアコンの室外機や冷却塔への渡り配管をパイプシャフトから屋上へ貫通させる場合に、その防水対策として小屋を設け、その側面から抜いて雨じまいを行なう小屋のことをいいます。

『はと小屋』をユニット化することにより、型枠不要・作業の省力化・工期の短縮になります。

是非ご検討ください♪

MARUI 丸井産業株式会社

<http://www1.ocn.ne.jp/~marui/index.html>



特長

- ◆配管を取り出す上部本体及びカバーは、基板をEPS、表面にウレタン樹脂を塗布して強化していますので、軽量で取り扱い易く、加工性がよいため、形、大きさなど自由な設計ができます。
- ◆ウレタン表面には塗装ができますので、お好みのカラーに仕上げることができます。
- ◆下部本体は **FRC(繊維補強コンクリート+発泡ガラス)** 製なので強度、耐久性、耐熱性にすぐれ、従来のコンクリートに比べて軽量なので作業性が改善されます。
- ◆各現場状況、防水処理の工法によりコンクリートスラブに埋設したり、コンクリートスラブ上にアンカー固定ができるので、煩雑な作業を省力化でき、工期の短縮が図れます。

製品仕様

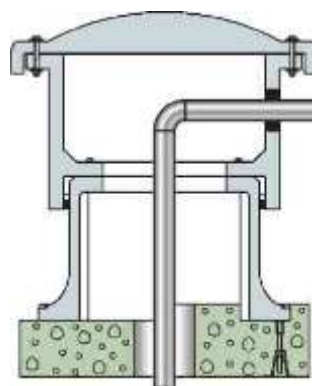


C3030



C3055

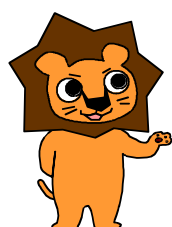
断面図



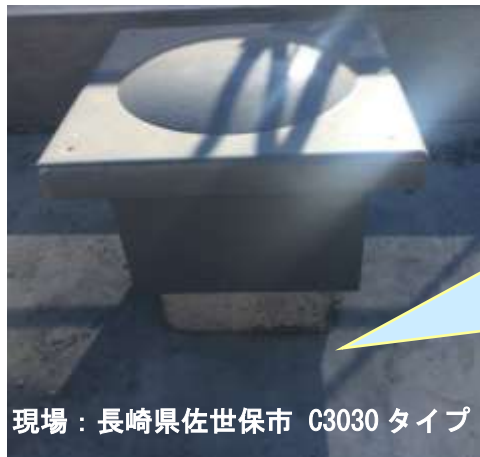
下部本体の強度

圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )
25~30	10

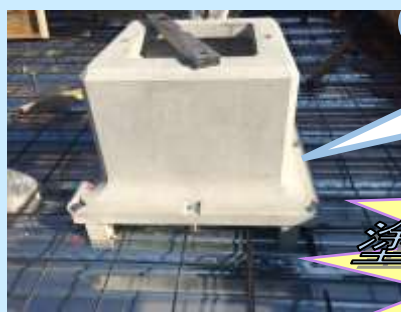
材質



	材質			塗装色 (吹付け塗装)
	基板		表面	
上部本体	EPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム) (難燃性、自己消火性)	35mm	ウレタン樹脂塗装 (2mm)	グレー (水性アクリル系)
カバー		30mm		
下部本体	FRC(繊維補強コンクリート)+発泡ガラス			なし



現場：長崎県佐世保市 C3030 タイプ



弊社では、**下部本体**を製造  
しています♪

**シート防水工事**  
**塗膜防水工事(ウレタン等)**  
**アスファルト防水工事**  
**に最適!**

**\*\* 下部本体製造にあたって \*\***

丸井産業株式会社様からお話を頂き、最初に訪問したのが2011年初夏の蒸し暑い日でした。それまで使用していた製品を拝見し、『今度作りたい製品は、鉄筋が入らなくて強靱で、しかも屋上で人力施工ができる程度の軽量なものにしたい』という要望を頂きました。早速、型枠を送って頂き、諸々の材料の選定を行い、試作品を製造しながら配合を決定していくことにしました。無筋コンクリートとするために、補強繊維は3種類のものを使用し、発泡ガラス細骨材を使用し軽量化を図ることにしました。より良い形状にするため、新造型枠として試作を重ね、スタートから2年余りを経て2013年盛夏から本格製造開始となりました。今では全国の建築現場で数多く使用して頂いており、とても感謝しています。

**施工事例**



現場：神奈川県厚木市 C3055 タイプ

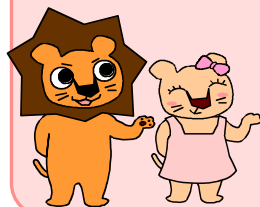


**スツキリ!!**



屋上での設置写真

**◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は**



直通電話：**0858-73-0500**  
までお気軽にどうぞ!  
FAX：**0858-73-0535**  
E-mail：**info@kooge.jp**

『はと小屋ポッポ』に関するお問い合わせは、**丸井産業株式会社**様へお願い致します。



**年末年始休業のお知らせ**

弊社の年末年始休業日程は、下記の通りとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**12月28日(日)~1月5日(月)まで**

※1月6日(火)より平常営業致します。

**◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆**

今回の製品紹介コーナーは、地味な特殊品『はと小屋ポッポ』をご紹介しました。このほかにも関東一円で展開するデパートの屋上ビアガーデンの照明の基礎など、渋い製品も作っています。当社は今まで「できない」といったことが無いのが自慢です。これからも皆様のお役に立つ製品を作り続けますので、どうか来年も宜しくお願いします。(山根)



来年も宜しくお願いします♪



<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>[info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)